

国道17号 北本(5)電線共同溝PFI事業
見積参考資料

令和6年10月

国土交通省 関東地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、事業者は、施工方法、地質条件等を十分考慮して、設計、工事、維持管理、調整業務等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

見積参考資料一覧

1. 見積参考資料（設計業務）
2. 見積参考資料（工事業務）
3. 見積参考資料（工事業務 引込連係管路工事:電力）
4. 見積参考資料（工事業務 引込連係管路工事:通信）
5. 見積参考資料（工事管理業務）
6. 見積参考資料（維持管理業務）
7. 見積参考資料（調整業務 設計段階）
8. 見積参考資料（調整業務 工事段階）
9. 見積参考資料（調整業務 維持管理段階）

見積参考資料

国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業

設計業務

本資料は、現場説明参加者の迅速な見積りに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業 設計業務において、設計条件と歩掛かりを下記のとおりとします。

■設計業務

1. 電線共同溝詳細設計業務

電線共同溝詳細設計業務は、設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第2章第12節12-2「電線共同溝（C・C・Box）詳細設計」により、計上しています。

1. 電線共同溝詳細設計業務 1（箇所）式

本業務の積算条件は以下のとおりです。

- ①設計延長 : 1,600m（市街地（DID））
- ②市街地以外等の延長 : 0m
- ③予備設計成果 : 有
- ④各部設計 : 無

2. 打合せ等

打合せ等（打合せ、関係機関打合せ協議）は、設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第2章第1節1-1「打合せ等」により、計上しています。

1. 打合せ

打合せは、下表のとおり計上しており、業務着手時1回、中間打合せ5回、成果物納入時1回の計7回を見込んでいます。

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
打合せ	人		3.5	3.5	3.5			打合せ 計7回

1式あたり

2. 関係機関打合せ協議

関係機関数は、9機関を見込んでいます。

3. その他

その他（合同現地踏査、照査技術者による報告）は、設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第2章第1節1-2「その他」により、計上しています。

4. 公開成果品作成

公開成果品作成は、設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第2章第1節1－3「公開成果品作成」により、計上しています。

5. 直接経費

1. 旅費交通費

旅費（率計上・宿泊無）は、設計業務等標準積算基準書（参考資料）（令和6年度版）の第1編第2章第1節1－3「旅費交通費」により、計上しています。

なお、区分については「土木設計業務」を適用しています。

2. 電子成果品作成費

電子成果品作成費は、設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第1章第3節3－1「電子成果品作成費」により、計上しています。

なお、計算式は「概略設計、予備設計又は詳細設計」を適用しています。

6. その他原価

その他原価は設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第1章第1節1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

7. 一般管理費等

一般管理費等は設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第1章第1節1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

■試掘調査

1. 試掘調査

試掘調査における採用歩掛は下記のとおりとします。

1箇所あたり

区分\職種	単位	直接人件費			直接経費	備考
		地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	機械経費	
試掘調査（昼間、夜間）	人	1.3	2.1	3.4	直接人件費の	・調査結果図（平面図・断面図）の作成を含む
					(67.3)%	

①機械経費はコンクリートカッタ、バックホウ、タンパ、小型ダンプトラック、燃料、材料費（路盤材、アスファルト舗装材）、処分費を含むものとします。

②夜間作業では、労務費単価に夜間割増係数を乗じています。

2. 安全費（試掘）

試掘調査に伴い、交通誘導警備員を下記のとおり計上しています。

作業区分	交通誘導警備員の区分	延べ人数	備考
昼間作業	交通誘導警備員 A	14人	交代要員を含む
昼間作業	交通誘導警備員 B	14人	交代要員を含む
夜間作業	交通誘導警備員 A	82人	交代要員を含む
夜間作業	交通誘導警備員 B	82人	交代要員を含む
合計		192人	交代要員を含む

3. 間接業務費

試掘調査における諸経費を下記のとおり計上しています。

諸経費＝直接調査費+間接調査費の46.6%

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所 工務課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）		主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（D I D補正）（１）－１ 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（D I D補正）（１）－１ 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない ３５％を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	I C T施工補正 週休２日の補正	補正しない 週休２日（閉所）４週８休以上（月単位）		

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)	LSP-2型(t=4mm)	式		1		【管路部】H=2.5m 104回転用 183日 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料 LSP-2型(t=4mm) H=2.5m 腹起し材損料 1年未満(30%) 一般構造用角型鋼管 125×125×3.2 鋼製切梁サポート賃料 管理設工事用 調整長 600mm～1000mm 【特殊部】H=3.0m 33回転用 86日 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料 LSP-2型(t=4mm) H=3.0m 腹起し材損料 3ヶ月未満(10%) 一般構造用角型鋼管 125×125×3.2 鋼製切梁サポート賃料 管理設工事用 調整長 1200mm～1800mm	m t t 本 m t t 本	2,066.4 2.3 0.48 6 537.3 2.3 0.39 6	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員	交通誘導警備員A	人日		2,600		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日		2,600		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
先行破碎工		式		1					
舗装版破碎工		式		1					
殻運搬	アスファルト殻	m3		209		< 1 m3当り> 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要）；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=17.5km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	m3		348		< 1 m3当り> 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし；積込工法区分=機械積込；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有無)=18.5km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分	アスファルト殻	m3		209		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3		348		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
舗装版切断	コンクリート+アスファルト(カハ [°] -)舗装版 舗装厚400mm	m		2,730		< 1 m当り> 舗装版切断【見積活用】 コンクリート+アスファルト（カハ [°] -）舗装版 舗装厚400mm	m	1	
舗装版破碎	Co+As(カハ [°] -)舗装版 舗装版厚 40 cm	m2		1,390		< 1 m2当り> 舗装版破碎【見積活用】 コンクリート+アスファルト（カハ [°] -）舗装版 舗装厚400mm	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
アスファルト舗装工		式		1					
上層路盤(歩道部)	路盤材(各種) 再生クラッシュレン 仕上り厚 250mm	m2		1,390		< 1 m2当り> 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工； 材料=路盤材(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		1,390		< 1 m2当り> 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
						基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		1,390		< 1 m2当り> 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生密粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	アスファルト殻	m3		253		< 1 m3当り> 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=22.5km以下；	m 3	1	
殻処分	アスファルト殻	m3		253		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 150mm以下	m		5,110		< 1 m当り> 舗装版切断【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 150mm以下	m	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		2,350		< 1 m2当り> 舗装版破碎積込（電線共同溝）【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削	土砂	m3		3,100		< 1 m3当り> 床掘り（電線共同溝工）	m 3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締固め	購入土(再生砂) 中埋砂	m3		860		< 1 m3当り> 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=中埋砂；	m 3	1	
埋戻し・締固め	発生土 土砂	m3		500		< 1 m3当り> 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=土砂；	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
						名称	単位	数量	
残土処理工		式		1					
土砂等運搬 現場→仮置き場		式		1		運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=3.5km以下；	m 3	1	
積込(ルーズ) 【昼間】	土砂　土量50,000m 3未満	m3		3,000		<　　1　　m3当り> 積込（ルーズ） 土質=土砂；作業内容=土量50,000m3未満；	m 3	1	
土砂等運搬 仮置き場→処分場 【昼間】	土砂(岩塊・玉石混 り土含む)	m3		3,020		<　　1　　m3当り> 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0 .8m3(平積0.6m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有) =14.0km以下；	m 3	1	
整地 【昼間】	残土受入れ地での 処理	m3		3,000		<　　1　　m3当り> 整地 作業区分=残土受入れ地での処理；	m 3	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
							名称	単位	数量	
埋設管路		電力管　径 130m m	式		1		【直管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】　埋設部　単管設置　（管種・管径問わず）	m	1,519	
							電力管　ECVPφ130　直管	m	1,595	
							【曲管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】　埋設部　単管設置　（管種・管径問わず）	m	439	
							電力管　ECVPφ130　曲管	m	461	
							【その他】 ダクトスリーブ　ECVPφ130	個	117	
							管路受台（スペーサ）（材料費） ダクトスリーブ 取付手間　φ50～φ250	個 箇所	2,118 117	
埋設管路		電力管　径 100m m	式		1		【直管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】　埋設部　単管設置　（管種・管径問わず）	m	4,583	
							電力管　ECVPφ100　直管	m	4,813	
							【曲管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】　埋設部　単管設置　（管種・管径問わず）	m	1,418	
							電力管　ECVPφ100　曲管	m	1,489	
							【その他】 ダクトスリーブ　ECVPφ100	個	334	
							管路受台（スペーサ）（材料費） ダクトスリーブ 取付手間　φ50～φ250	個 箇所	4,586 334	

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）				工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項		
							名称	単位	数量
埋設管路		ホﾞﾃﾞｨ管 径 250mm (φ 50×8, φ 30×6)	式		1		【直管】管路材はロス率（1.05）を含む		
							管路材設置【見積活用】　埋設部　ボディ管（φ 250）		
							設置（さや管含む）		
							ホﾞﾃﾞｨ管 VPφ 250 直管		
							【ロータス・スライド管】		
							管路材設置【見積活用】　埋設部　ボディ管（φ 250）		
							設置（さや管含む）		
							ﾛｰﾀｽ管(ﾎﾞﾙﾄ固定式) VPφ 250		
							ｽﾗｲﾄﾞ管 VPφ 250		
							【その他】		
							ﾍﾞﾝﾄﾚｽ継手 VPφ 250		
							ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ VPφ 250		
							管路受台（スペーサ）（材料費）		
							さや管 SUφ 50　直管		
さや管 SUφ 30　直管									
さや管(端末部用短管) SUφ 50　L=1.1m									
さや管(端末部用短管) SUφ 30　L=1.1m									
ﾀﾞｸﾄｽﾘｰﾌﾞ 取付手間　φ 50～φ 250									

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事				
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
埋設管路		ボデー管 径 250mm (φ50×9, φ30×2)	式		1		【直管】管路材はロス率（1.05）を含む	m	390		
							管路材設置【見積活用】 埋設部 ボデー管（φ250）設置（さや管含む）				
							ボデー管 VPφ250 直管			m	410
							【ロータス・スライド管】				
							管路材設置【見積活用】 埋設部 ボデー管（φ250）設置（さや管含む）			m	20
							ロータス管(ボルト固定式) VPφ250			個	14
							スライド管 VPφ250			個	7
							【その他】				
							ベントレス継手 VPφ250			個	57
							ダクトスリーブ VPφ250			個	13
							管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	396
							さや管 SUφ50 直管			m	3,473
							さや管 SUφ30 直管			m	771
							さや管(端末部用短管) SUφ50 L=1.1m			本	126
さや管(端末部用短管) SUφ30 L=1.1m	本	28									
埋設管路		通信管 径 150mm	式		1		【直管】管路材はロス率（1.05）を含む	m	1,488		
							管路材設置【見積活用】 埋設部 FA管設置				
							通信管 供用FA管 φ150 直管			m	1,563
							【その他】				
							ベントレス継手 供用FA管 φ150			個	177
							ヤトリ継手 供用FA管 φ150			個	25
							VP管キャップ（仮止めキャップ） 共用FA管 φ150			個	2
							ダクトスリーブ 供用FA管 φ150	個	52		
							管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	746		
							ダクトスリーブ 取付手間 φ50～φ250	箇所	52		

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
埋設管路		通信管 径 75mm	式		1		【直管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】 埋設部 単管設置（管種・管径問わず）	m	195	
							通信管 PVφ75 直管	m	205	
							【曲管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】 埋設部 単管設置（管種・管径問わず）	m	183	
							通信管 PVφ75 曲管	m	193	
							【その他】 ダクトスリーブ PVφ75	個	32	
							管路受台（スペーサ）（材料費）	個	234	
							ダクトスリーブ 取付手間 φ50～φ250	箇所	32	
【供用FA分岐管φ75用（材料費）は未計上】										
埋設管路		通信管 径 50mm	式		1		【直管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】 埋設部 単管設置（管種・管径問わず）	m	993	
							通信管 PVφ50 直管	m	1,043	
							【曲管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】 埋設部 単管設置（管種・管径問わず）	m	137	
							通信管 PVφ50 曲管	m	144	
							【その他】 ダクトスリーブ PVφ50	個	38	
							管路受台（スペーサ）（材料費）	個	1,242	
							ダクトスリーブ 取付手間 φ50～φ250	箇所	38	
埋設管路		交通施設通信管 FEP 径 80mm	式		1		波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設【見積活用】 構内地中 80mm以下 新設 1条 付属物 0%	m	147	
							ダクトスリーブ 取付工【歩掛見積参考】 手間のみ（φ250～φ30、壁厚15cm以下）（ヘルマウス含む）	箇所	12	
							ロングヘルマウス FEPφ80	個	15	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
埋設管路		交通施設通信管 FEP 径 50mm	式				波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設【見積活用】 構内地中 50mm以下 新設 1条 付属物 0% ダクトスリーブ 取付工【歩掛見積参考】 手間のみ（φ250～φ30、壁厚15cm以下）（ヘルマウス含む） ロングヘルマウス FEP φ50	m	327
				1				箇所	10
								個	20
埋設管路		交通施設通信管 径 75mm	式				【直管】管路材はロス率（1.05）を含む 管路材設置【見積活用】 埋設部 単管設置 （管種・管径問わず） 通信管 PV φ75 直管 【その他】 ダクトスリーブ 取付工【歩掛見積参考】 手間のみ（φ250～φ30、壁厚15cm以下）（ヘルマウス含む） ダクトスリーブ PV φ75	m	587
				1				m	617
								箇所	20
埋設表示シート		W=400	m				< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	個	63
				5,110				m	1
プレキャストボックス工(特殊部)				式					

見積参考資料

工事名	国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業 （ 工 事 業 務 ） （ 当 初 ）					工種区分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 積 算 要 素	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
プ レ キ ャ ス ト ボ ッ ク ス D-1	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上 機器側方2基	m 3	0.073	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
						敷板 850×1800×3000型	個	2	
プ レ キ ャ ス ト ボ ッ ク ス D-2	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	m 3	0.053	
						端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業 （ 工 事 業 務 ） （ 当 初 ）					工種区分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 積 算 要 素		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-3		I 型 BOX型 1200 ×1800×3800 電 力横断 内幅 1.2 m 内高 1.8m					プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.119	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.02	
							プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3800 電力横 断	組	1	
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080× 150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
		個		1		サイドボックス 1000×600×650 端壁 サイドボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず 敷板 1200×1800×3800型	個 個 組	1 1 1	
プレキャストボックス D-4	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず 敷板 850×1800×3000型	個 個 個 m3 組 個 組	2 2 3 0.073 1 2 1	

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-5	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上 機器側方1基	m 3	0.051	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用）　1110×2080×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	
プレキャストボックス D-6	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	m 3	0.053	
						端壁 950×1500用（起点側・終点用）　1210×1780×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-7	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.051	
						プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上 機器側方1基	組	1	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用）　1110×2080×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	
プレキャストボックス D-8	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.053	
						プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	
						端壁 950×1500用（起点側・終点用）　1210×1780×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-9	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上 機器側方1基	m 3	0.051	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×1 50 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	
プレキャストボックス D-10	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	m 3	0.053	
						端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1 50 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
プレキャストボックス D-11		電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；		
							プレキャストボックスブロック設置	個	2
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；		
							モルタル練	m ³	0.051
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；		
							プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1
							端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業 （ 工 事 業 務 ） （ 当 初 ）					工 種 区 分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名 称	単 位	数 量	
プレキャストボックス D-12		電力Ⅱ型 BOX型 9 50×1800×3000 電力横断 内幅 0. 95m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.079	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.02	
							プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 950×1800×3000 電 力横断	組	1	
							サイドボックス 1000×600×650	個	1	
							端壁 サイドボックス用 1260×860×150 タクトスリーブ 取付・ 材料費含まず	個	1	
							端壁 950×1800用（起点側・終点用） 1210×2080×1 50 タクトスリーブ 取付・材料費含まず	個	2	
							敷板 950×1800×3000型	組	1	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-13		I型 BOX型 1200 ×1800×3500 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m ³	0.11	
							プレキャストボックス I型 BOX型 1200×1800×3500	組	1	
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080× 150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	
						敷板 1200×1800×3500型	組	1		

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）					（　　当　　初　　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス D-14	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	2		
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m ³	0.051		
						プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1		
						端壁 850×1800用（起点側・終点用）　1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		
プレキャストボックス D-15	通信接続桝 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	2		
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m ³	0.031		
						通信接続桝 500×1050×2000	組	1		
						端壁 500×1050用（起点側・終点用）　720×1160×100 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-16	通信接続桝 500×1050×2000 内幅 0.5m 内高 1.05m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m ³	0.031	
						通信接続桝 500×1050×2000	組	1	
						端壁 500×1050用（起点側・終点用） 720×1160×100 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	
プレキャストボックス D-17	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m ³	0.051	
						プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名	国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電線共同溝 P F I 事業（工事業務）					（ 当 初 ）	工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス D-18	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；				
						プレキャストボックスブロック設置	個	2		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；				
						モルタル練	m 3	0.053		
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
						プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1		
						端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1				
						50 タクトスリプ 取付・材料費含まず	個	2		
プレキャストボックス D-19	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×5000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	3		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；				
						プレキャストボックスブロック設置	個	2		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；				
						プレキャストボックスブロック設置	個	4		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；				
						モルタル練	m 3	0.117		
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
						プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×5000 地上 機器側方2基	組	1		
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×1				
						50 タクトスリプ 取付・材料費含まず	個	2		
						敷板 850×1800×5000型	組	1		

見積参考資料

工事名	国道 1 7 号 北 本（ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業（ 工 事 業 務 ）（ 当 初 ）					工種区分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-20	I 型 BOX型 1200 ×1800×3800 電力横断 内幅 1.2 m 内高 1.8m					プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	3	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.119	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.02	
						プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3800 電力横断	組	1	
						端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
			個		1		サイドボックス 1000×600×650	個	1	
							端壁 サイドボックス用 1260×860×150 タクトスリプ 取付・材料費含まず	個	1	
							敷板 1200×1800×3800型	組	1	
プレキャストボックス D-21		通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
							プレキャストボックスブロック設置	個	2	
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
							モルタル練	m 3	0.053	
			個		1		セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；			
							プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	
							端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 タクトスリプ 取付・材料費含まず	個	2	
プレキャストボックス D-22		電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
							プレキャストボックスブロック設置	個	2	
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
							モルタル練	m 3	0.051	
			個		1		セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；			
							プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	
							端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 タクトスリプ 取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-23		I 型 BOX型 1200 ×1800×4000 地 上機器直上1基 内 幅 1.2m 内高 1. 8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×4000 地上機 器直上1基	m 3	0.125	
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080× 150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							敷板 1200×1800×4000型	個	2	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
プレキャストボックス D-24		電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；		
							プレキャストボックスブロック設置	個	2
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；		
							モルタル練	m ³	0.051
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；		
							プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1
							端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本（ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業（ 工 事 業 務 ）（ 当 初 ）					工 種 区 分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名 称	単 位	数 量	
プレキャストボックス D-25		I 型 BOX型 1200 ×1800×3500 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレージンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレージンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレージンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレージンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレージンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレージンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレージンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレージンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.11	
							プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3500	組	1	
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080× 150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	
						敷板 1200×1800×3500型	組	1		

見積参考資料

工事名	国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-26	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.053	
						プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	
						端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1 50 タクトスリプ 取付・材料費含まず	個	2	
プレキャストボックス D-27	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.051	
						プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上 機器側方1基	組	1	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×1 50 タクトスリプ 取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-1	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上 機器側方1基	m 3	0.051	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	
プレキャストボックス U-2	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	m 3	0.053	
						端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-3	I 型 BOX型 1200 ×1800×3800 電力横断 内幅 1.2 m 内高 1.8m					プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	3	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.119	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.02	
						プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3800 電力横断	組	1	
						端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
			個		1		サイドボックス 1000×600×650	個	1	
							端壁 サイドボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	
							敷板 1200×1800×3800型	組	1	
プレキャストボックス U-4		電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	m 3	0.051	
							端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	組	1	
								個	2	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-5		I 型 BOX型 1200 ×1800×3500 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.11	
							プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3500	組	1	
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080× 150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	
			</							

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（　　当　　初　　）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
							名称	単位	数量		
プレキャストボックス U-6		I 型 BOX型 1200 ×1800×4000 地 上機器直上1基 内 幅 1.2m 内高 1. 8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	2		
							ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	2		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	3		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；				
							モルタル練	m 3	0.125		
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
							プレキャストボックス　I 型 BOX型 1200×1800×4000 地上機 器直上1基	組	1		
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用）　1460×2080× 150　ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		
							敷板 1200×1800×4000型	組	1		

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-7	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	2	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m ³	0.051	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；			
						プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 グラウトシーブ 取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-8		I 型 BOX型 1200 ×1800×3800 マン ホール孔民地側寄り 電力横断 内幅 1. 2m 内高 1.8m					プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	1	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.119	
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.02	
							プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3800 マンホール 孔民地側寄り 電力横	組	1	
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080× 150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（　　当　　初　　）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素			規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
								名称	単位	数量		
				個		1		サイドボックス 1000×600×650	個	1		
								端壁 サイドボックス用 1260×860×150　ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1		
								敷板 1200×1800×3800型	組	1		
プレキャストボックス U-9			I 型 BOX型 1200×1800×5000　マンホール孔民地側寄り 内幅 1.2m 内高 1.8m			1		プレキャストボックスブロック設置	個	2		
								ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1		
								プレキャストボックスブロック設置				
								ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
								プレキャストボックスブロック設置	個	2		
								ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	4		
								プレキャストボックスブロック設置				
								ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
								モルタル練	m 3	0.154		
								セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
プレキャストボックス　I 型 BOX型 1200×1800×5000　マンホール孔民地側寄り　地上機	組	1										
端壁 1200×1800用（起点側・終点用）　1460×2080×150　ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2										
敷板 1200×1800×5000型	組	1										

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業 （ 工 事 業 務 ）				（ 当 初 ）		工種区分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 積 算 要 素		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
プレキャストボックス U-10		I 型 BOX型 1200 ×1800×3500 マン ホール孔民地側寄り 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1		
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1		
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2		
							プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	3		
							モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.11		
							プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3500 マンホール 孔民地側寄り	組	1		
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080× 150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		
							敷板 1200×1800×3500型	組	1		

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（　　当　　初　　）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
							名称	単位	数量		
プレキャストボックス U-11		I 型 BOX型 1200 ×1800×4000 地 上機器直上1基 内 幅 1.2m 内高 1. 8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	2		
							ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	2		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	3		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；				
							モルタル練	m ³	0.125		
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
							プレキャストボックス　I 型 BOX型 1200×1800×4000 地上機 器直上1基	組	1		
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用）　1460×2080× 150　ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		
							敷板 1200×1800×4000型	組	1		

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（　　当　　初　　）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
							名称	単位	数量		
プレキャストボックス U-12		電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	2		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	2		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	3		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
							モルタル練	m ³	0.073		
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
							プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	組	1		
							端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		
							敷板 850×1800×3000型	組	1		

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
プレキャストボックス U-13		I 型 BOX型 1200 ×1800×3800 電力横断 内幅 1.2 m 内高 1.8m				プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	3	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.119	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.02	
						プレキャストボックス I 型 BOX型 1200×1800×3800 電力横断	組	1	
						端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
			個		1		サイドボックス 1000×600×650	個	1		
							端壁 サイドボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1		
							敷板 1200×1800×3800型	組	1		
プレキャストボックス U-14		I型 BOX型 1200×1800×3500 内幅 1.2m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	1		
							ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	2		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；				
							プレキャストボックスブロック設置	個	3		
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；				
							モルタル練	m ³	0.11		
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
			個		1		プレキャストボックス I型 BOX型 1200×1800×3500	組	1		
							端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		
							敷板 1200×1800×3500型	組	1		

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）					（　　当　　初　　）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス U-15	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
						プレキャストボックスブロック設置	個	2		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；				
						モルタル練	m 3	0.051		
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
						プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上 機器側方1基	組	1		
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		
プレキャストボックス U-16	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3　無；				
						プレキャストボックスブロック設置	個	2		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3　無；				
						モルタル練	m 3	0.053		
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；				
						プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1		
						端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1 50 タクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2		

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-17	電力Ⅱ型 BOX型 8 50×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上 機器側方1基	m 3	0.051	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×1 50 タクトスリプ 取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	
プレキャストボックス U-18	通信Ⅱ型 BOX型 9 50×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	m 3	0.053	
						端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1 50 タクトスリプ 取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-19	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	m 3	0.051	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリプ 取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	
プレキャストボックス U-20	電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基 内幅 0.85m 内高 1.8m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3　無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	m 3	0.051	
						端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリプ 取付・材料費含まず	組	1	
							個	2	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-21	通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200 内幅 0.95m 内高 1.5m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	2	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.053	
						プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200 端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×1	組	1	
						50 タクトスリフ取付・材料費含まず	個	2	
プレキャストボックス D分-1～7, U分-1～10	電力分岐樹 450×500×900 内幅 0.45m 内高 0.5m	個		17		< 1 個当り> プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.013	
						電力用分岐樹 450×500×900	組	1	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-1		地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×45 内幅 0.95m 内 高 1.16m	個		2		< 1 個当たり>			
							プレキャストボックスブロック設置	個	1	
							ボックスブロック1個当たり質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
							プレキャストボックスブロック設置	個	1	
							ボックスブロック1個当たり質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；			
							モルタル練	m 3	0.022	
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；			
							地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×45 0)	組	1	
							サイドホール C・C・BOX用サイドホール L=2230 19山	個	1	
							取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス D-4		地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×45 内幅 0.95m 内 高 1.16m	個		2		< 1 個当たり>			
							プレキャストボックスブロック設置	個	1	
							ボックスブロック1個当たり質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
							プレキャストボックスブロック設置	個	1	
							ボックスブロック1個当たり質量=1000kg以下；ラフレックレン賃 料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；			
							モルタル練	m 3	0.022	
							セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；			
							地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×45 0)	組	1	
							サイドホール C・C・BOX用サイドホール L=2270 19山	個	1	
							取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-5	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1710 内幅 0.38m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.047	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；			
						地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	
						サイトホール C・Ｃ・BOX用サイトホール L=1710 14山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス D-7	地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1740 内幅 0.95m 内高 1.16m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.022	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用；			
						地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	
						サイトホール C・Ｃ・BOX用サイトホール L=1740 15山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-9	地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×4 50） 隔離寸法 L=2 110 内幅 0.95m 内高 1.16m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.022	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×45 0)	組	1	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=2110 18山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス D-11	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900 ×450） 隔離寸法 L=2140 内幅 0.38 m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.047	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900 ×450）	組	1	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=2140 18山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-14	地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1740 内幅 0.95m 内高 1.16m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	m 3	0.022	
						サイトホール C・Ｃ・BOX用サイトホール L=1740 15山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス D-17	地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×450） 隔離寸法 L=2220 内幅 0.95m 内高 1.16m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	m 3	0.022	
						サイトホール C・Ｃ・BOX用サイトホール L=2220 19山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（ 当 初 ）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
プレキャストボックス D-19		地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=2240 内幅 0.38m 内高 1.12	個		2		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=2240 19山 取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき			個	1
							個	1			
							m 3	0.047			
							組	1			
							個	1			
プレキャストボックス D-22		地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×450） 隔離寸法 L=2110 内幅 0.95m 内高 1.16m	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無； モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 995×710×1160（車道側開口900×450） サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=2110 18山 取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき			個	1
							個	1			
							m 3	0.022			
							組	1			
							個	1			

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス D-24	地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×450） 隔離寸法 L=2390 内幅 0.95m 内高 1.16m	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.022	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=2390 20山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス D-27	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1350 内幅 0.38m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.047	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=1350 11山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-1	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1710 内幅 0.38 m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	m 3	0.047	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=1710 14山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス U-4	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1710 内幅 0.38 m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	m 3	0.047	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=1710 14山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-7	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1580 内幅 0.38m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.047	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	
						サイドホール C・C・BOX用サイドホール L=1580 13山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス U-12	地上機器ハンドホール 995×710×1160（ 車道側開口900×450） 隔離寸法 L=1470 内幅 0.95m 内高 1.16m	個		2		< 1 個当り >			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						プレキャストボックスブロック設置	個	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；			
						モルタル練	m 3	0.022	
						セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	
						サイドホール C・C・BOX用サイドホール L=1470 13山	個	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-15	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）隔離寸法 L=2240 内幅 0.38m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	m 3	0.047	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=2240 19山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス U-17	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）隔離寸法 L=2040 内幅 0.38m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	m 3	0.047	
						サイドホール C・Ｃ・BOX用サイドホール L=2040 17山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス U-19	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=2240 内幅 0.38m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	m 3	0.047	
						サイトホール C・Ｃ・BOX用サイトホール L=2240 19山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	
プレキャストボックス U-20	地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450） 隔離寸法 L=2240 内幅 0.38m 内高 1.1	個		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレシクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレシクレン賃料補正係数(実数入力)=1.3 無；	個	1	
						モルタル練 セメント種類=普通；費用の内訳=全ての費用； 地上機器ハンドホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	m 3	0.047	
						サイトホール C・Ｃ・BOX用サイトホール L=2240 19山	組	1	
						取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
安全施設ハトール	600×600×900(铸铁蓋含む)	個		8		＜ 1 個当り＞ 安全施設ハトール設置工【歩掛見積参考】 600×600×600～1200(上段+中段+下段)(蓋設置含む) 安全施設ハトール 600×600×900 蓋（材料費）	個 組 組	1 1 1	
安全施設ハトール	600×600×1200(铸铁蓋含む)	個		10		＜ 1 個当り＞ 安全施設ハトール設置工【歩掛見積参考】 600×600×600～1200(上段+中段+下段)(蓋設置含む) 安全施設ハトール 600×600×1200 蓋（材料費）	個 組 組	1 1 1	
基礎材	再生クラッシャー 40～0 7.5cmを超え12.5cm以下	m2		286		＜ 1 m2当り＞ 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
蓋 D1～14, 17～22, 24～27 U-1～5, 7, 10, 12～21	铸铁蓋（受枠含む）φ750 車道用	組		41		＜ 1 組当り＞ 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； 蓋（材料費） 調整リング φ750用 H=150 ステップ 有り 調整リング φ750用 H=200 ステップ 無し	組 組 個 個	1 1 1 1	
蓋 U-9	铸铁蓋（受枠含む）φ750 車道用	組		1		蓋設置 蓋1組当り質量=800kgを超え2000kg以下； 蓋（材料費） 調整リング φ750用 H=150 ステップ 有り 調整リング φ750用 H=200 ステップ 無し 【地上機器用ブロック（材料費）は未計上】	組 組 個 個	1 1 1 1	
蓋 D-23, U-6, 11	铸铁蓋（受枠含む）φ750 歩道用	組		3		＜ 1 組当り＞ 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； 蓋（材料費） 調整リング φ750用 H=100 ステップ 無し 【地上機器用ブロック（材料費）は未計上】	組 組 個	1 1 1	

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
蓋 U-8		铸铁蓋（受枠含む） φ750 歩道用	組		1		蓋設置	組	1
							蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下；		
							蓋（材料費）	組	1
							調整リング φ750用 H=150 ステップ 無し	個	1
							調整リング φ750用 H=200 ステップ 有り	個	1
蓋 D-15, 16		铸铁蓋（受枠含む） 通信接続柵蓋 500×2000用	組		2		調整リング φ750用 H=200 ステップ 無し	個	1
							< 1 組当り >		
							蓋設置	組	1
							蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下；		
							蓋（材料費）	組	1
蓋 D分-1～7, U分-1～10		铸铁蓋（受枠含む） 電力分岐柵用 450×900用	組		17		< 1 組当り >		
							蓋設置	組	1
							蓋1組当り質量=200kg以下；		
							蓋（材料費）	組	1
							蓋 D-1, 4, 7, 9, 14, 17, 22, 24, U-12		地上機器用ハトコ ル蓋 995×710用
蓋設置	組	1							
蓋1組当り質量=200kg以下；									
蓋（材料費）	組	1							
蓋 D-5, 11, 19, 27 U-1, 4, 7, 15, 17, 19, 20		地上機器用ハトコ ル蓋 380×2620用	組		12				
							蓋設置	組	1
							蓋1組当り質量=200kg以下；		
							蓋（材料費）	組	1
							情報ボックス工		
舗装版破碎工			式		1				

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	アスファルト殻	m3		46		< 1 m3当り> 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要）；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=17.5km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分	アスファルト殻	m3		46		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 150mm以下	m		1,620		< 1 m当り> 舗装版切断【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 150mm以下	m	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15 c m以下	m2		543		< 1 m2当り> 舗装版破碎積込（情報ボックス工）【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	m2	1	
作業土工		式		1					
床掘り		m3		550		< 1 m3当り> 床掘り（情報ボックス工）	m 3	1	
埋戻し	発生土	m3		420		< 1 m3当り> 埋戻し（情報ボックス工）	m 3	1	
光ケーブル敷設工 【仮設】		式		1					

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本 （ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業 （ 工 事 業 務 ）					(当 初)		工 種 区 分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素			規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
								名 称		単位	数 量	
光地中配線			DSF120C+SM4C	m				< 1 m 当り > 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=新設； 光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（４芯テープスロット）；材料規格詳細=D S F；材料選択=光ケーブル(4芯テープ スロット)DSF 120C+SM 4C；		m	1	
					3,078					m・本	1	
光地中配線			SZ128C	m				< 1 m 当り > 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=新設； 光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（４芯テープS Z 型）；材料選択=光ケーブル(4芯テープ SZ型)S M 1.31 μ m 128C；		m	1	
					16					m・本	1	
光屋外配線			DSF120C+SM4C	m				< 1 m 当り > 光ケーブル配線 作業種別=屋内屋外管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=新設； 光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（４芯テープスロット）；材料規格詳細=D S F；材料選択=光ケーブル(4芯テープ スロット)DSF 120C+SM 4C；		m	1	
					14					m・本	1	
光屋外配線			SZ128C	m				< 1 m 当り > 光ケーブル配線 作業種別=屋内屋外管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=新設； 光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（４芯テープS Z 型）；材料選択=光ケーブル(4芯テープ SZ型)S M 1.31 μ m 128C；		m	1	
					14					m・本	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
光架空配線	DSF120C+SM4C	m				光ケーブル架空配線 作業種別=18mm以下；作業内容による補正=新設；設置方法による補正=補正無し； 光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（4芯テープスロット）；材料規格詳細=DSF；材料選択=光ケーブル(4芯テープスロット)DSF 120C+SM 4C； 亜鉛メッキ鋼より線 規格=2種A級 30mm2；	径間 m・本 m	29 962 955	
光架空配線	SZ128C					光ケーブル架空配線 作業種別=18mm以下；作業内容による補正=新設；設置方法による補正=補正無し； 光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（4芯テープSZ型）；材料選択=光ケーブル(4芯テープSZ型)SM 1.31μm 128C；	径間 m・本	29 962	
光配線附属品			式		1	光ケーブル銘板 アクリル板 t=3mm 【スハイルハンカφ75（材料費）は未計上】 【スハイルハンカ終端クランプ（材料費）は未計上】	個	29	
光ケーブル接続	40テープ（心）以下	箇所				< 1 箇所当り > 光ケーブル直線接続 作業種別=45テープ（心）以下；分岐ケーブル本数=0 本/箇所；	箇所	1	
光ケーブル試験					4	光ケーブル伝送損失試験 作業種別=140心以下； 光ケーブル接続損失試験 作業種別=140心以下；	方向 対向	1 1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線管敷設	厚鋼電線管 G82	m		28		電線管敷設 作業種別=厚鋼；規格=82mm以下；作業内容による補正=新設；設置方法による補正=ナット留め；設置高さによる補正=2m以上；配管加工が少ない場合の補正=補正なし；	m	28	
						厚鋼電線管 G 8 2	m	28	
仮設柱設置	8-19-4.3	本		5		< 1 本当り> コンクリート柱建柱 作業種別=コンクリート柱8m以下；作業内容による補正=新設；	本	1	
光ケーブル敷設工 【本設】		式		1					
光地中配線	DSF120C+SM4C	m		4,058		< 1 m当り> 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=新設；	m	1	
						光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（4芯テープスロット）；材料規格詳細=DSF；材料選択=光ケーブル(4芯テープ スロット)DSF 120C+SM 4C；	m・本	1	
光地中配線	SZ128C	m		1,246		< 1 m当り> 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=新設；	m	1	
						光ケーブル配線各種 材料名称=光ケーブル；材料規格=光ケーブル（4芯テープSZ型）；材料選択=光ケーブル(4芯テープ SZ型)SM 1.31μm 128C；	m・本	1	
光配線附属品		式		1		光ケーブル銘板 アクリル板 t=3mm	個	27	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
光ケーブル接続	40ケーブル(心)以下	箇所		4		< 1 箇所当り> 光ケーブル直線接続 作業種別=45ケーブル(心)以下；分岐ケーブル本数=0 本/箇所；	箇所	1	
光ケーブル試験		対向		1		光ケーブル伝送損失試験 作業種別=140心以下；	方向	1	
						光ケーブル接続損失試験 作業種別=140心以下；	対向	1	
情報ボックス仮接続工		式		1					
仮接続(1)		箇所		1		管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； ダクトスリーブ PVφ75 ダクトスリーブ 取付工【歩掛見積参考】 手間のみ(φ250～φ30、壁厚15cm以下)(ヘルマウス含む) 埋設表示シート W=150×50m 2倍 水抜き穴なし 【立上げベント管（材料費）は未計上】 【PL-PS PV管D継手（材料費）は未計上】	m	4.6	
						個	2		
						箇所	2		
						m	2.3		
仮接続(2)		箇所		1		管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； ダクトスリーブ PVφ75 ダクトスリーブ 取付工【歩掛見積参考】 手間のみ(φ250～φ30、壁厚15cm以下)(ヘルマウス含む) 埋設表示シート W=150×50m 2倍 水抜き穴なし 【立上げベント管（材料費）は未計上】 【PL-PS PV管D継手（材料費）は未計上】	m	7.4	
						個	2		
						箇所	2		
						m	3.7		
光ケーブル撤去工 【既設】		式		1					

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
光地中配線撤去		DSF120C+SM4C	m		4,063		＜ 1 m当り＞ 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；	m	1	
光地中配線撤去		SZ128C	m		1,002		＜ 1 m当り＞ 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；	m	1	
現場発生品運搬(電気) 現場→熊谷国道出張所		光ケーブル	t		0.48		＜ 1 t当り＞ 現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t；DID区間の有無=有り；片道運搬距離(km)DID有=9.0km以下； 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t；	t	1	
光ケーブル撤去工 【仮設】			式		1					
光地中配線撤去		DSF120C+SM4C	m		3,078		＜ 1 m当り＞ 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；	m	1	
光地中配線撤去		SZ128C	m		16		＜ 1 m当り＞ 光ケーブル配線 作業種別=地中管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；	m	1	
光屋外配線撤去		DSF120C+SM4C	m		14		＜ 1 m当り＞ 光ケーブル配線 作業種別=屋内屋外管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；	m	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
光屋外配線撤去	SZ128C	m		14		< 1 m当り> 光ケーブル配線 作業種別=屋内屋外管内配線；規格=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；	m	1	
光架空配線撤去	DSF120C+SM4C	m		962		光ケーブル架空配線 作業種別=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；設置方法による補正=補正無し；	径間	29	
光架空配線撤去	SZ128C	m		962		光ケーブル架空配線 作業種別=18mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；設置方法による補正=補正無し；	径間	29	
電線管撤去	厚鋼電線管 G82	m		28		< 1 m当り> 電線管敷設 作業種別=厚鋼；規格=82mm以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；設置方法による補正=サドル留め；設置高さによる補正=2m以上；配管加工が少ない場合の補正=補正なし；	m	1	
仮設柱撤去	8-19-4.3	本		5		< 1 本当り> コンクリート柱建柱 作業種別=コンクリート柱8m以下；作業内容による補正=撤去(再使用)；	本	1	
現場発生品運搬(電気) 現場→熊谷国道出張所	光ケーブル,コンクリート柱,厚鋼電線管	t		3.3		< 1 t当り> 現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック4～4.5t級、吊能力2.9t；DID区間の有無=有り；片道運搬距離(km) DID有=9.0km以下； 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック4～4.5t級、吊能力2.9t；	t t	1 1	
情報ボックス撤去工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管撤去	ボティ管φ250(さや管φ50×6条)	m		788		< 1 m当り> 埋設管撤去工【歩掛見積参考】 情報ボックス本体管φ250, さや管φ50×6	m	1	
ハトホル撤去	1500×700×950	基		2		< 1 基当り> 構造物とりこわし 構造物区分=鉄筋構造物；工法区分=機械施工；時間的制約の有無=著しく有り；夜間作業の有無=有り；低騒音・低振動対策=必要；	m 3	1. 56	
ハトホル撤去	1500×950×1500	基		1		構造物とりこわし 構造物区分=鉄筋構造物；工法区分=機械施工；時間的制約の有無=著しく有り；夜間作業の有無=有り；低騒音・低振動対策=必要；	m 3	2. 57	
殻運搬	コンクリート殻(鉄筋)	m3		5		< 1 m3当り> 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし；積込工法区分=機械積込；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有無)=18.5km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3		5		< 1 m3当り> 処分費（m3）	m 3	1	
現場発生品運搬 現場→仮置き場	ボティ管	t		12. 26		< 1 t当り> 現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック4～4.5t級、吊能力2.9t；DID区間の有無=有り；片道運搬距離(km) DID有=3.0km以下； 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック4～4.5t級、吊能力2.9t；	t t	1 1	

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
現場発生品運搬 現場→熊谷国道出張所		バドホル蓋	t		0.28		＜ 1 t当り＞ 現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t；DID区間の有無=有り；片道運搬距離(km)DID有=9.0km以下；	t	1	
							現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t級、吊能力2.9t；	t	1	
アスファルト舗装工 車道部 日々復旧			式		1					
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 450mm	m2		183		＜ 1 m2当り＞ 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=450 mm；施工区分=3層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(歩道部)		路盤材(各種) 再生クラッシュラン 仕上り厚 250mm	m2		183		＜ 1 m2当り＞ 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工； 材料=路盤材(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
基層(車道・路肩部)		再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚 50mm以下)	m2		183		＜ 1 m2当り＞ 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
							基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（　　当　　初　　）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項			
						名称	単位	数量	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		183		< 1 m2当り> 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生密粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 支道部 仮復旧		式		1					
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 250mm	m2		13		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		13		< 1 m2当り> 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生密粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道一般部(1) 仮復旧		式		1					
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2		3		< 1 m2当り> フィルター層 平均厚さ=100mm以上120mm未満；	m 2	1	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2		3		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
表層(歩道部)		再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		3		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=再生密粒度アスコン（１３）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道一般部(2) 仮復旧			式		1					
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2		284		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(歩道部)		再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		284		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=再生密粒度アスコン（１３）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道切下部(1) 仮復旧 W≦4m			式		1					
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 250mm	m2		8		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本（ 5 ） 電 線 共 同 溝 P F I 事 業（ 工 事 業 務 ）（ 当 初 ）					工 種 区 分	C ・ C ・ B O X 工 事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名 称	単 位	数 量	
表層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m3未満)再生密粒度アスコン(20)舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚5	m2		8		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道切下部(2) 仮復旧 4m<W≦8m			式		1					
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 300mm	m2		19		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=300 mm；施工区分=2層施工；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m3未満)再生密粒度アスコン(20)舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚5	m2		19		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道切下部(3) 仮復旧 8m<W			式		1					
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 350mm	m2		33		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=350 mm；施工区分=2層施工；材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（　　当　　初　　）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
							名称	単位	数量		
基層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m3未満)再生粗粒度アスコン(20)舗装厚　50mm　1.4m未満（1層当り平均仕上り厚5	m2		33		<　　　　1　　　　m2当り> 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50　m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m　2	1		
表層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m3未満)再生密粒度アスコン(20)舗装厚　50mm　1.4m未満（1層当り平均仕上り厚5	m2		33		<　　　　1　　　　m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50　m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m　2	1		
舗装工			式		1						
アスファルト舗装工 車道部　日々復旧			式		1						
下層路盤(歩道部)		再生クワッチャン　RC-40　仕上り厚　450mm	m2		1,300		<　　　　1　　　　m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=450　mm；施工区分=3層施工；材料=再生クワッチャン　RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m　2	1		
上層路盤(歩道部)		路盤材(各種)再生クワッチャン　仕上り厚　250mm	m2		1,300		<　　　　1　　　　m2当り> 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250　mm；施工区分=2層施工；材料=路盤材(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m　2	1		

見積参考資料

工事名		国道 1 7 号 北 本 (5) 電線共同溝 P F I 事業 (工事業務) (当 初)					工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分 ・ 工種 ・ 種別 ・ 細別 ・ 積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
基層(車道 ・ 路肩部)		再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		1,300		< 1 m2当り > 基層 (車道 ・ 路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm； 材料=再生粗粒度アスコン (2 0) ； 瀝青材料種類=無し； 費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
							< 1 m2当り > 基層 (車道 ・ 路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm； 材料=再生粗粒度アスコン (2 0) ； 瀝青材料種類=無し； 費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道 ・ 路肩部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		1,300		< 1 m2当り > 表層 (車道 ・ 路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm； 材料=再生密粒度アスコン (2 0) ； 瀝青材料種類=無し； 費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 支道部 仮復旧			式		1					
下層路盤(歩道部)		再生クワッチャン RC-40 仕上り厚 250mm	m2		24		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=250 mm； 施工区分=2層施工； 材料=再生クワッチャン RC-40； 費用の内訳=全ての費用 ；	m 2	1	
表層(車道 ・ 路肩部)		再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		24		< 1 m2当り > 表層 (車道 ・ 路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm； 材料=再生密粒度アスコン (2 0) ； 瀝青材料種類=無し； 費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
アスファルト舗装工 歩道一般部(1) 仮復旧		式		1					
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2		882		< 1 m2当り> フィルター層 平均厚さ=100mm以上120mm未満；	m 2	1	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-4 0 仕上り厚 100m m	m2		882		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用 ；	m 2	1	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(1 3) 舗装厚 40mm 1.4m未満（1層当 り平均仕上り厚50 mm以下）	m2		882		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m；材料=再生密粒度アスコン（13）；瀝青材料種 類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道切下部(2) 仮復旧 4m<W≦8m		式		1					
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-4 0 仕上り厚 300m m	m2		28		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=300 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用 ；	m 2	1	
表層(歩道部)	各種(2.30以上2.4 0t/m3未満) 再生 密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1. 4m未満（1層当り 平均仕上り厚5	m2		28		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種 類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
アスファルト舗装工 歩道切下部(3) 仮復旧 8m<W			式		1					
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 350mm	m2		31		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=350 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
基層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚5	m2		31		< 1 m2当り > 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(歩道部)		各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚5	m2		31		< 1 m2当り > 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
舗装打換え工 【仮復旧】			式		1					
舗装版切断		アスファルト舗装版 舗装厚 150mm	m		7		< 1 m当り > 舗装版切断【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 150mm以下	m	1	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm	m2		1,300		< 1 m2当り > 舗装版破碎【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下 積込作業 有	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	舗装版破碎	m3		195		< 1 m3当り> 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=17.5km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分	アスファルト殻	m3		195		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
掘削	土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	式		1		掘削 土質=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；施工数量=小規模(標準)；	m 3	1	
不陸整正(歩道部)		m2		1,300		< 1 m2当り> 不陸整正工(歩道部)【歩掛見積参考】敷均し補足材なし	m 2	1	
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		320		< 1 m3当り> 土砂等運搬 土砂等発現場=小規模；積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=3.0km以下；	m 3	1	
上層路盤	コンクリート路盤 仕上り厚 t=250mm	m2		1,300		< 1 m2当り> コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=コンクリートポンプ車打設；コンクリート規格=各種；設計日打設量=100m3以上500m3未満；養生工の種類=一般養生；圧送管延長距離区分=延長無し；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.25	

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（ 当 初 ）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
基層		再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満（1層 当り平均仕上り厚 50mm以下）	m2		1,300		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生粗粒度ｱｽｺﾝ（２０）；瀝青材料種 類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
							基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生粗粒度ｱｽｺﾝ（２０）；瀝青材料種 類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
表層		再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当 り平均仕上り厚50 mm以下）	m2		1,300		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生密粒度ｱｽｺﾝ（２０）；瀝青材料種 類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
排水構造物工			式		1						
作業土工			式		1						
床掘り		土砂	m3		10		< 1 m3当り > 床掘り 土質=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用の内 訳=全ての費用；	m 3	1		

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
土砂等運搬 現場→仮置き場	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		10		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模；積込機種・規格=バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=3.0km以下；	m 3	1	
側溝工		式		1					
L型側溝(1)撤去・復旧	一般部(再利用)	m		116		< 10 m当り > 【撤去】 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用； エポロンブロック撤去【歩掛見積参考】 750×220×160 L=2000(再利用) 【復旧】 歩車道境界ブロック【見積活用】 各種(1000mm以下, 150kg未満) 無 無 エポロンブロック設置【見積活用】 750×220×160 L=2000 基礎砕石【見積活用】 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン 40～0	m m m m m 2	10 10 10 10 8	

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
L型側溝(2)撤去・復旧	歩道切下部(再利用)					< 10 m当り > 【撤去】 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用； エポロンブロック撤去【歩掛見積参考】 750×220×160 L=2000(再利用) 【復旧】 歩車道境界ブロック【見積活用】 各種(1000mm以下, 150kg未満) 無 無 エポロンブロック設置【見積活用】 750×220×160 L=2000 基礎砕石【見積活用】 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャー 40～0	m m m m m 2	10 10 10 10 8	
縁石工		m		16					
		式		1					
縁石工									
		式		1					

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
中央分離帯撤去・復旧	FK-3(再利用)	m		0.7		< 10 m当り>			
						【撤去】			
						歩車道境界ブロック撤去	m	10	
						再利用区分=再利用；			
						構造物とりこわし	m 3	0.74	
植樹ブロック撤去・復旧	150×180(再利用)	m		3		構造物区分=無筋構造物；工法区分=機械施工；時間的制約の有無=著しく有り；夜間作業の有無=有り；低騒音・低振動対策=必要；			
						【復旧】			
						歩車道境界ブロック【見積活用】 各種(1000mm以下, 150kg未満) 無 無	m	10	
						コンクリート（間詰コンクリート）【見積活用】 小型構造物 人力打設 養生無し 小運搬無し	m 3	0.24	
						コンクリート（基礎コンクリート）【見積活用】 小型構造物 人力打設 養生無し 小運搬無し	m 3	0.5	
防護柵工		式		1		型枠【見積活用】 一般型枠 小型構造物	m 2	2	
						< 10 m当り>			
						【撤去】			
						地先境界ブロック撤去	m	10	
						再利用区分=再利用；			
						構造物とりこわし	m 3	0.22	
						構造物区分=無筋構造物；工法区分=機械施工；時間的制約の有無=著しく有り；夜間作業の有無=有り；低騒音・低振動対策=必要；			
						【復旧】			
						地先境界ブロック【見積活用】 各種（600mm以下、50kg未満） 再生クラッシュラン RC-40	m	10	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
路側防護柵工			式		1					
ガードレール撤去・復旧		Gr-B-4E(再利用)					< 10 m当り > 【撤去】 部材撤去(レール撤去) 規格・仕様=路側用A・B・C種(旧歩車道境界用 Ap・Bp・Cp種)；夜間作業の補正=有；時間的制約を受ける場合の補正=有； 【復旧】 部材設置（レール設置）【見積活用】 手間のみ 路側用A・B・C種 有 有 無	m	10	
			m		25			m	10	
ガードパイプ 撤去・復旧		Gp-Bp-2E(再利用)					< 10 m当り > 【撤去】 部材撤去（パイプ） 夜間補正=有；時間的制約を受ける場合の補正=有； 【復旧】 部材設置（パイプ）【見積活用】 手間のみ 有 有 無	m	10	
			m		1			m	10	
区画線工			式		1					
区画線工			式		1					
			式		1					

見積参考資料

工事名		国道１７号　北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）				（　　当　　初　　）		工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単　　位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参　考　事　項				
							名称	単位	数量		
溶融式区画線		溶融式手動　実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		180		＜　　　１　　　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線　15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18％； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1		
溶融式区画線		溶融式手動　実線 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		90		＜　　　１　　　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線　45cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18％； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1		
溶融式区画線		溶融式手動　破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		20		＜　　　１　　　m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=破線　15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18％； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1		

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
熔融式区画線	熔融式手動 実線 黄 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		91		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=熔融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線 15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 熔融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=黄 鉛・クロムフリー； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
構造物撤去工		式		1					
運搬処理工		式		1					
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		0.1		< 1 m3当り> 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし； 積込工法区分=機械積込； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有無)=18.5km以下； 費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		0.1		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
舗装		式		1					
道路土工		式		1					

見積参考資料

工事名		国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
掘削工			式		1				
掘削		土砂 上記以外(小規模) 小規模(標準)	m3		8		< 1 m3当り> 掘削 土質=土砂; 施工方法=上記以外(小規模); 施工数量=小規模(標準);	m 3	1
土砂等運搬 現場→仮置き場		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		8		< 1 m3当り> 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=3.0km以下;	m 3	1
積込(ルーズ) 【昼間】		土砂 土量50,000m3未満	m3		8		< 1 m3当り> 積込（ルーズ） 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m 3	1
土砂等運搬 仮置き場→処分場 【昼間】		土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		8		< 1 m3当り> 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=14.0km以下;	m 3	1
整地 【昼間】		残土受入れ地での処理	m3		8		< 1 m3当り> 整地 作業区分=残土受入れ地での処理;	m 3	1
舗装工			式		1				
舗装準備工			式		1				

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
不陸整正	補足材無し	m2		3,000		< 1 m2当り> 不陸整正 補足材料の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 支道部		式		1					
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m以下	m2		68		< 1 m2当り> 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生密粒度アスコン（20）；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道一般部(1)		式		1					
表層	開粒度アスコン(13) 1.4m以上2.4m未満 舗装厚 40mm	m2		877		< 1 m2当り> 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上2.4m未満；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=開粒度アスコン(13)；	m 2	1	
表層	開粒度アスコン(13) 2.4m以上 舗装厚 40mm	m2		1,880		< 1 m2当り> 透水性アスファルト舗装 平均幅員=2.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=開粒度アスコン(13)；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道切下部(2) 4m<W≦8m		式		1					

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
基層(歩道部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		93		< 1 m2当り> 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(歩道部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		93		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 歩道切下部(3) 8m<W		式		1					
基層(歩道部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m以上	m2		76		< 1 m2当り> 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用； 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2 m 2	1 1	
表層(歩道部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上	m2		76		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m以上；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切削オーバーレイ工		式		1					
切削オーバーレイ	7cmを超え12cm以下 二層 各種 各種	m2		4,540		< 1 m2当り> 切削オーバーレイ 平均切削深さ=7cmを超え12cm以下；即日舗設の層数=二層；舗装厚(一層目)(実数入力)=50 mm；舗装厚(二層目)(実数入力)=50 mm；アスファルト材料(一層目)=各種；アスファルト材料(二層目)=各種；締固め後密度(一層目)(実数入力)=2.35 t/m3；締固め後密度(二層目)(実数入力)=2.35 t/m3；瀝青材料種類(一層目)=タックコート；瀝青材料種類(二層目)=タックコート；	m 2	1	
殻運搬(路面切削)	切削殻	m3		454		< 1 m3当り> 殻運搬（路面切削） DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=19.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
殻処分	アスファルト殻	m3		454		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
区画線工		式		1					
区画線工		式		1					

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
溶融式区画線		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		1,380		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線 15cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線		溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		10		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=破線 15cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線		溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		190		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=ゼブラ 45cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		120		＜ 1 m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=矢印・記号・文字 15cm換算；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
構造物撤去工		式		1					
構造物取壊し工		式		1					
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		2,700		＜ 1 m当り＞ 舗装版切断【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 150mm以下	m	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm	m2		3,000		＜ 1 m2当り＞ 舗装版破碎【見積活用】 アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下 積込作業 有	m 2	1	
運搬処理工		式		1					
殻運搬	アスファルト殻	m3		126		＜ 1 m3当り＞ 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要）；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=17.5km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻処分	アスファルト殻	m3		126		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m3	1	
仮設工		式		1					
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員	交通誘導警備員A	人日		100		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日		100		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
建設機械運搬費		台		1		貨物自動車による運搬（1車1回） 運搬区分=路面切削機(ホイル式・廃材積込装置付) 2.0 m；片道運搬距離(実数入力)=23.1 km；その他の諸料金の有無=無；運搬中の賃料(損料)の有無=有；	台	2	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
仮設材運搬費						< 1 t当り> 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=関東・中部・近畿；片道運搬距離(実数 入力)=23.1 km；製品長区分=12m以内；運搬割増率= 各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；そ の他の諸料金の有無=無；	t	2	
		t				仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(片道分)；	t	2	
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費用		式		1		技術員【週休2日補正対象外】	人	1.75	
現場環境改善費（率計上）		式		1					
共通仮設費（率計上）		式		1					
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1					
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					

見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業（工事業務）（ 当 初 ）					工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする						
	○：該当する管理費区分が含まれている								
工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）				事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分		アスファルト殻	m3	209	○				
殻処分		コンクリート殻(鉄筋)	m3	348	○				
殻処分		アスファルト殻	m3	253	○				
殻処分		アスファルト殻	m3	46	○				
光地中配線		DSF120C+SM4C	m	3,078	○				
光地中配線		SZ128C	m	16	○				
光屋外配線		DSF120C+SM4C	m	14	○				

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象				管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする				管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分7 間接労務費対象労務費			
	○：該当する管理費区分が含まれている											
工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）		事業区分		共同溝・電線共同溝		
								工事区分		電線共同溝		
細別名称		規格		単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T		管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
光屋外配線		SZ128C		m	14	○						
光架空配線		DSF120C+SM4C		m	962	○						
光架空配線		SZ128C		m	962	○						
光地中配線		DSF120C+SM4C		m	4,058	○						
光地中配線		SZ128C		m	1,246	○						
殻処分		コンクリート殻(鉄筋)		m3	5	○						
殻処分		アスファルト殻		m3	195	○						

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする						
	○：該当する管理費区分が含まれている								
工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務）				事業区分		共同溝・電線共同溝	
		（ 当 初 ）				工事区分		電線共同溝	
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分		コンクリート殻(無筋)	m3	0.1	○				
殻処分		アスファルト殻	m3	454	○				
殻処分		アスファルト殻	m3	126	○				

歩 掛 見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道17号 北本(5) 電線共同溝PFI事業 工事業務(本体工事)

この「歩掛見積参考資料」は入札参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「歩掛見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「歩掛見積参考資料」の有効期限は、この工事の入札日までとする。また、「歩掛見積参考資料」は見積に資するための資料であるため、原則、質問は受け付けないものとする。

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所 工務課

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）

名 称	規 格	単 位	適用細別	摘 要
ダクトスリーブ取付工	手間のみ管径問わない(φ250～φ30、壁厚15cm以下)(ベルマウス含む)	箇所	埋設管路	第 1 号単価表
安全施設ハットホル設置工	600×600×600～1200(上段+中段+下段)(蓋設置含む)	個	安全施設ハットホル	第 2 号単価表
埋設管撤去工	情報ボックス本体管φ250 さや管φ50×6条	m	埋設管撤去	第 3 号単価表
不陸整正工(歩道部)	敷均し補足材なし	m ²	不陸整正(歩道部)	第 4 号単価表
エプロンブロック撤去工	750×220～250×130～160 L=2000(再利用)	m	L型側溝(1)撤去・復旧 L型側溝(2)撤去・復旧	第 5 号単価表
(価格条件)				

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 1号単価表		ダクトスリーブ取付工				
手間のみ管径問わない(φ250～φ30、壁厚15cm以下)(ヘルマウス含む)				1	箇所	当り
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費	
土木一般世話役		人	0.07		*	
特殊作業員		人	0.20		*	
普通作業員		人	0.13		*	
諸雑費(率+まるめ)		%	17.0			
(価格条件)						
上記摘要欄の*は、諸雑費率の対象である						
1. 時間的制約を著しく受けるものとする。						
2. 夜間補正を考慮した歩掛かりである。						
3. 諸雑費は、コンクリート削孔に使用するハンマドリルなどの機械器具損料、型枠設置・撤去に使用する型枠用合板・はく離材及び電動ノギリなどの機械器具損料、コンクリート打設に使用するシュートなどの器具損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。						
4. 日当たり施工量は、14箇所/日						

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 2号単価表					
安全施設ハンドホール設置工					
600×600×600～1200(上段+中段+下段)(蓋設置含む)					
10 個 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
土木一般世話役		人	3.33		
特殊作業員		人	3.33		
普通作業員		人	6.67		
トラック運転	クレーン装置付 4t車 2.9t吊	日	3.33	第 1号機械運転単価表	
諸雑費(まるめ)		式	1.0		
(価格条件) 1. 時間的制約を著しく受けるものとする。 2. 夜間補正を考慮した歩掛かりである。 3. 日当たり施工量は、3個/日					

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 3号単価表					
埋設管撤去工					
情報ボックス本体管φ250 さや管φ50×6条					
10 個 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
土木一般世話役		人	2.28		
特殊作業員		人	2.28		
普通作業員		人	6.84		
小型バックホウ運転	クローラ型 山積0.11m ³ 平積0.08m ³	日	2.28	第 2号機械運転単価表	
諸雑費(率+まるめ)		%	1.0		
(価格条件) 1. 時間的制約を著しく受けるものとする。 2. 夜間補正を考慮した歩掛かりである。 3. 日当たり施工量は、30m/日					

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 4号単価表					
不陸整正工(歩道部)					
敷均し補足材なし					
100 m2 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
特殊作業員		人	0.41		*
普通作業員		人	1.00		*
振動ローラ(舗装用)運転	搭乗・コンバインド式 質量3~4t	日	0.50	第 3号機械運転単価表	*
小型バックホウ運転	クローラ型 山積0.11m3 平積0.08m3	日	0.50	第 4号機械運転単価表	*
諸雑費(率+まるめ)		%	3.0		
(価格条件)				上記摘要欄の*は、諸雑費率の対象である	
1. 時間的制約を著しく受けるものとする。 2. 諸雑費は、散水及び補助機械に要する費用であり、労務費及び機械運転経費の合計額に上表の率を上限として計上する。 3. 日当たり施工量は、200m2/日					

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 5号単価表					
エプロンブロック撤去工					
750×220～250×130～160 L=2000(再利用)					
100 m 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
土木一般世話役		人	0.71		*
ブロック工		人	0.71		*
普通作業員		人	1.43		*
バックホウ運転	クローラ型 山積0.45m3 平積0.35m3 クレーン2.9t吊	日	0.71	第 5号機械運転単価表	
諸雑費(率+まるめ)		%	9.0		
(価格条件)				上記摘要欄の*は、諸雑費率の対象である	
1. 時間的制約を著しく受けるものとする。 2. 夜間補正を考慮した歩掛かりである。 3. 諸雑費は、器具、補助機械等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 日当たり施工量は、140m/日					

歩掛見積参考資料

第 1号機械運転単価表					
トラック運転					
クレーン装置付 4t車 2.9t吊					
1 日 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
運転手(特殊)		人	1.00		
軽油		L	18.00		
トラック賃料	クレーン装置付 4t車 2.9t吊	供用日	1.45		
諸雑費(まるめ)		式	1	端数整理	
(価格条件)					

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 2号機械運転単価表					
小型バックホウ運転					
クローラ型 山積0.11m3 平積0.08m3					
1 日 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
運転手(特殊)		人	1.00		
軽油		L	17.00		
小型バックホウ賃料	クローラ型 山積0.11m3 平積0.08m3	共用日	1.78		
諸雑費(まるめ)		式	1	端数整理	
(価格条件)					

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 3号機械運転単価表					
振動ローラ(舗装用)運転					
搭乗・コンバインド式 質量3~4t					
1 日 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
運転手(特殊)		人	1.00		
軽油		L	11.00		
振動ローラ(舗装用)賃料	搭乗・コンバインド式 質量3~4t	供用日	1.52		
諸雑費(まるめ)		式	1	端数整理	
(価格条件)					

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 4号機械運転単価表					
小型バックホウ運転					
クローラ型 山積0.11m3 平積0.08m3					
1 日 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
運転手(特殊)		人	1.00		
軽油		L	22.00		
小型バックホウ賃料	クローラ型 山積0.11m3 平積0.08m3	供用日	1.80		
諸雑費(まるめ)		式	1	端数整理	
(価格条件)					

歩 掛 見 積 参 考 資 料

第 5号機械運転単価表					
バックホウ運転					
クローラ型 山積0.45m3 平積0.35m3 クレーン2.9t吊					
1 日 当り					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	諸雑費
運転手(特殊)		人	1.00		
軽油		L	67.00		
バックホウ賃料	クローラ型 山積0.45m3 平積0.35m3 クレーン2.9t吊	供用日	1.14		
諸雑費(まるめ)		式	1	端数整理	
(価格条件)					

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
管路工（管路部）	埋設管路	ベントレス継手 VPφ250	個	177	参考単価： 1,490,000 円 / 個
		ベントレス継手 供用FAφ150	個	177	参考単価： 94,100 円 / 個
プレキャストボックス工 （特殊部）	プレキャストボックス 【D-1】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	組	1	参考単価： 1,400,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
		敷板 900×1300×3000型	組	1	参考単価： 124,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-2】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-3】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3800 電力横断	組	1	参考単価： 1,800,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		端壁 サイトボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	参考単価： 51,400 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-3】	敷板 1200×1800×3800型	組	1	参考単価： 189,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-4】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	組	1	参考単価： 1,400,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
		敷板 850×1800×3000型	組	1	参考単価： 124,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-5】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-6】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-7】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-8】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-9】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-10】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-11】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-12】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 950×1800×3000 電力横断	組	1	参考単価： 1,490,000 円 / 組
		端壁 950×1800用（起点側・終点用） 1210×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 125,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-12】	端壁 サイトボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	参考単価： 51,400 円 / 個
		敷板 950×1800×3000型	組	1	参考単価： 139,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-13】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3500	組	1	参考単価： 1,530,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		敷板 1200×1800×3500型	組	1	参考単価： 177,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-13】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-14】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-15】	通信接続枠 500×1050×2000	組	1	参考単価： 358,000 円 / 組

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-15】	端壁 500×1050用（起点側・終点用） 720×1160×100 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 41,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-16】	通信接続柵 500×1050×2000	組	1	参考単価： 358,000 円 / 組
		端壁 500×1050用（起点側・終点用） 720×1160×100 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 41,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-17】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-18】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-19】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×5000 地上機器側方2基	組	1	参考単価： 1,910,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
		敷板 850×1800×5000型	組	1	参考単価： 193,000 円 / 組

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 （特殊部）	プレキャストボックス 【D-20】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3800 電力横断	組	1	参考単価： 1,800,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		端壁 サイトボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	参考単価： 51,400 円 / 個
		敷板 1200×1800×3800型	組	1	参考単価： 189,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-21】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-22】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-23】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器直上1基	組	1	参考単価： 1,850,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 （特殊部）	プレキャストボックス 【D-23】	敷板 1200×1800×4000型	組	1	参考単価： 198,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-24】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-25】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3500	組	1	参考単価： 1,530,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		敷板 1200×1800×3500型	組	1	参考単価： 177,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【D-26】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-27】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【U-1】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-2】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-3】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3800 電力横断	組	1	参考単価： 1,800,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		端壁 サイロボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	参考単価： 51,400 円 / 個
		敷板 1200×1800×3800型	組	1	参考単価： 189,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-4】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【U-5】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3500	組	1	参考単価： 1,530,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		敷板 1200×1800×3500型	組	1	参考単価： 177,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-6】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器直上1基	組	1	参考単価： 1,850,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		敷板 1200×1800×4000型	組	1	参考単価： 198,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-7】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-8】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3800 マンホール孔民地側寄り 電力横断	組	1	参考単価： 1,800,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【U-8】	端壁 サイトボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	参考単価： 51,400 円 / 個
		敷板 1200×1800×3800型	組	1	参考単価： 189,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-9】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×5000 マンホール孔民地側寄り 地上機器直上2基	組	1	参考単価： 2,380,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		敷板 1200×1800×5000型	組	1	参考単価： 243,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-10】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3500 マンホール孔民地側寄り	組	1	参考単価： 1,530,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		敷板 1200×1800×3500型	組	1	参考単価： 177,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-11】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×4000 地上機器直上1基	組	1	参考単価： 1,850,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいと、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 （特殊部）	プレキャストボックス 【U-11】	敷板 1200×1800×4000型	組	1	参考単価： 198,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-12】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×3000 地上機器側方2基	組	1	参考単価： 1,400,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
		敷板 850×1800×3000型	組	1	参考単価： 124,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-13】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3800 電力横断	組	1	参考単価： 1,800,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個
		端壁 サイロボックス用 1260×860×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	1	参考単価： 51,400 円 / 個
		敷板 1200×1800×3800型	組	1	参考単価： 189,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-14】	プレキャストボックスⅠ型 BOX型 1200×1800×3500	組	1	参考単価： 1,530,000 円 / 組
		端壁 1200×1800用（起点側・終点用） 1460×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 136,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 （特殊部）	プレキャストボックス 【U-14】	敷板 1200×1800×3500型	組	1	参考単価： 177,000 円 / 組
	プレキャストボックス 【U-15】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-16】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-17】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-18】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-19】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【U-19】	端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-20】	プレキャストボックス 電力Ⅱ型 BOX型 850×1800×2000 地上機器側方1基	組	1	参考単価： 925,000 円 / 組
		端壁 850×1800用（起点側・終点用） 1110×2080×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 105,000 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-21】	プレキャストボックス 通信Ⅱ型 BOX型 950×1500×2200	組	1	参考単価： 831,000 円 / 組
		端壁 950×1500用（起点側・終点用） 1210×1780×150 ダクトスリーブ取付・材料費含まず	個	2	参考単価： 97,800 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-1】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	2	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2230 19山	個	2	参考単価： 1,020,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	2	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-4】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	2	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2270 19山	個	2	参考単価： 1,020,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-4】	取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	2	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-5】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1710 14山	個	1	参考単価： 771,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-7】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1740 15山	個	1	参考単価： 820,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-9】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2110 18山	個	1	参考単価： 820,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-11】	地上機器ハントホール 380×2620×1120（車道側開口900×450）	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2140 18山	個	1	参考単価： 969,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-14】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1740 15山	個	1	参考単価： 820,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-17】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2220 19山	個	1	参考単価： 1,020,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-19】	地上機器ハントホール 380×2620×1120（車道側開口900×450）	組	2	参考単価： 2,660,000 円 / 組

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-19】	サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2240 19山	個	2	参考単価： 1,020,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	2	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-22】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2110 18山	個	1	参考単価： 969,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-24】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2390 20山	個	1	参考単価： 1,070,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【D-27】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 (車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1350 11山	個	1	参考単価： 622,000 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【D-27】	取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-1】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1710 14山	個	1	参考単価： 771,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-4】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1710 14山	個	1	参考単価： 771,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-7】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1580 13山	個	1	参考単価： 721,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【U-12】	地上機器ハントホール 995×710×1160(車道側開口900×450)	組	2	参考単価： 519,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=1470 13山	個	2	参考単価： 721,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	2	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-15】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 (車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2240 19山	個	1	参考単価： 1,020,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-17】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 (車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2040 17山	個	1	参考単価： 615,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-19】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 (車道側開口900×450)	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道 17 号 北本（5）電線共同溝 P F I 事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	プレキャストボックス 【U-19】	サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2240 19山	個	1	参考単価： 1,020,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	プレキャストボックス 【U-20】	地上機器ハントホール 380×2620×1120 （車道側開口900×450）	組	1	参考単価： 2,660,000 円 / 組
		サイトホール C・C・BOX用サイトホール L=2240 19山	個	1	参考単価： 1,020,000 円 / 個
		取付枠 900×450用 溶融亜鉛めっき	個	1	参考単価： 41,300 円 / 個
	安全施設ハントホール	蓋（材料費） 鋳鉄蓋（受枠含む）安全施設ハントホール □760 φ600用	組	18	参考単価： 114,000 円 / 組
	蓋【D1～14, 17～ 22, 24～27、U-1～ 5, 7, 10, 12～21】	蓋（材料費） 鋳鉄蓋（受枠含む）φ750 車道用（シンター錠別途）	組	41	参考単価： 311,000 円 / 組
		調整リング φ750用 H=150 ステップ有り	個	41	参考単価： 40,900 円 / 個
		調整リング φ750用 H=200 ステップ無し	個	41	参考単価： 40,700 円 / 個
	蓋【U-9】	蓋（材料費） 鋳鉄蓋（受枠含む）φ750 車道用（シンター錠別途）	組	1	参考単価： 311,000 円 / 組

注1）現場引渡し

注2）請負工事費に占める割合が大きいいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	蓋【U-9】	調整リング φ750用 H=150 ステップ有り	個	1	参考単価： 40,900 円 / 個
		調整リング φ750用 H=200 ステップ無し	個	1	参考単価： 40,700 円 / 個
	蓋【D-23, U-6, 11】	蓋（材料費） φ750 歩道用（シンダー錠別途）	組	3	参考単価： 311,000 円 / 組
		調整リング φ750用 H=100 ステップ無し	個	3	参考単価： 34,600 円 / 個
	蓋【U-8】	蓋（材料費） φ750 歩道用（シンダー錠別途）	組	1	参考単価： 311,000 円 / 組
		調整リング φ750用 H=150 ステップ無し	個	1	参考単価： 37,700 円 / 個
		調整リング φ750用 H=200 ステップ無し	個	1	参考単価： 43,900 円 / 個
		調整リング φ750用 H=200 ステップ有り	個	1	参考単価： 40,700 円 / 個
	蓋【D-15, 16】	蓋（材料費） 鋳鉄蓋（受枠含む） 通信接続枳蓋 500×2000用（仮舗装有、シンダー錠別	組	2	参考単価： 752,000 円 / 組
	蓋【D分-1～7, U分-1～10】	蓋（材料費） 鋳鉄蓋（受枠含む） 電力分岐枳用 450×900用（仮舗装有、シンダー錠別途）	組	17	参考単価： 320,000 円 / 組

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

歩掛見積参考資料

工事名	国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事業務（本体工事）		工種区分		舗装工事
種別	細別	規格	単位	数量	備考
プレキャストボックス工 (特殊部)	蓋 【D-1, 4, 7, 9, 14, 17, 22 24, U-19】	蓋（材料費）地上機器ハンドホール蓋（受枠含む） 995×710用（シンダー錠別途，仮蓋含む）	組	12	参考単価： 389,000 円 / 組
	蓋 【D-5, 11, 19, 27, U-1, 4, 7, 15, 17, 19, 20】	蓋（材料費）地上機器ハンドホール蓋（受枠含む） 380×2620用（シンダー錠別途，仮蓋含む）	組	12	参考単価： 1,160,000 円 / 組
光ケーブル敷設工【仮設】 光ケーブル敷設工【本説】	光地中配線 光架空配線	光ケーブル DSF120C+SM4C	m	8112	参考単価： 3,600 円 / m
	光地中配線 光架空配線	光ケーブル SZ128C	m	2238	参考単価： 1,560 円 / m

注１）現場引渡し

注２）請負工事費に占める割合が大きいため、特別調査単価を参考単価として示す。

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業 （工事業務 引込連係管路工事：
電力）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所 工務課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（当初））		主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	I C T施工補正 週休2日の補正	補正しない 週休2日（閉所）4週8休以上（月単位）		

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：電力）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
電線共同溝			式		1					
仮設工			式		1					
土留・仮締切工			式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)		LSP-2型(t=4mm)	式		1	【管路部】H=2.5m 10回転用 24日 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料 LSP-2型（t=4mm） H=2.5m 腹起し材損料 3ヵ月未満（10％） 一般構造用角形鋼管 鋼製切梁サポート賃料 管理設工事用 調整長 600mm～1000mm	m t t 本	182 2.36 0.48 6		
交通管理工			式		1					
交通誘導警備員 A			人日		90	< 1 人日当り> 交通誘導警備員A	人日	1		
交通誘導警備員 B			人日		90	< 1 人日当り> 交通誘導警備員B	人日	1		
舗装版撤去工			式		1					
舗装版破碎工			式		1					

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	アスファルト殻	m3		30		< 1 m3当り> 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=22.5km以下；	m 3	1	
殻処分	アスファルト殻	m3		30		< 1 m3当り> 処分費（m 3）	m 3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 150mm	m		400		< 1 m当り> 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装	m2		700		< 1 m2当り> 舗装版破碎積込（電線共同溝工）	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削	土砂	m3		100		< 1 m3当り> 床掘り（電線共同溝工）	m 3	1	
土砂等運搬 現場→仮置場	土砂	m3		100		< 1 m3当り> 運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=3.5km以下；	m 3	1	
埋戻し工		式		1					

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：電力）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
埋戻し・締固め		中埋砂	m3		70		< 1 m3当り> 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=中埋砂；	m 3	1	
残土処理工 （昼間）			式		1					
積込（ルーズ） （昼間）		土砂 土量50,000m 3未満	m3		100		< 1 m3当り> 積込（ルーズ） 土質=土砂；作業内容=土量50,000m3未満；	m 3	1	
土砂等運搬 （昼間）		土砂(岩塊・玉石混 り土含む)	m3		100		< 1 m3当り> 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=31.5km以下；	m 3	1	
整地 （昼間）		残土受入れ地での 処理	m3		100		< 1 m3当り> 整地 作業区分=残土受入れ地での処理；	m 3	1	
引込連係管路			式		1					
引込連係管路（電力）			式		1					
埋設管路		電力管 φ100					【直管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	78	
							【曲管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	78	
			式		1		【その他】 管路受台（スパーサ）（材料費）	個	48	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
埋設管路		電力管 φ130	式		1		【直管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	18
							【曲管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	6
							【その他】 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	17
埋設管路		電力通信管 φ100	式		1		【直管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	14
							【曲管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	8
							【その他】 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	15
埋設管路		電力通信管 φ75	式		1		【直管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	42
							【曲管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	8
							【その他】 管路受台（スぺーサ）（材料費）	個	29
埋設表示シート			式		1				
埋設表示シート		300mm×50mm 2倍 水抜き穴3個	m		180		< 1 m当り> 埋設表示シート（材料費）	m	1

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（ 当 初 ）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
舗装工		式		1					
アスファルト舗装工 仮復旧 歩道一般部		式		1					
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2		600		< 1 m2当り> フィルター層 平均厚さ=100mm以上120mm未満；	m 2	1	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-4 0 仕上り厚 100m m	m2		600		< 1 m2当り> 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(2 0) 舗装厚 40mm 1.4m未満（1層当 り平均仕上り厚50 mm以下）	m2		600		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m；材料=再生密粒度アスコン（20）；瀝青材料種 類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 仮復旧 歩道切下部（W≦4m）		式		1					
上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 250mm	m2		50		< 1 m2当り> 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整碎石 RM-40；費用の内訳=全て の費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（５）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：電力）					（ 当 初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		50		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生密粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
アスファルト舗装工 仮復旧 支道部		式		1						
上層路盤(歩道部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 300mm	m2		50		< 1 m2当り> 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=300 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整砕石 RM-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
基層(歩道部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		50		< 1 m2当り> 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生粗粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
						基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生粗粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		50		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生密粒度アスコン（２０）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：電力）					（ 当 初 ）		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素			規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
								名称		単位	数量	
区画線工				式		1						
区画線工				式		1						
熔融式区画線			熔融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排 水性舗装無	m		100		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=熔融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線 15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排 水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間 の場合の補正=無し； 熔融式塗料規格=含有量15～18 %； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗 装； 費用の内訳=全ての費用；		m	1	
縁石工				式		1						
縁石工				式		1						
地先境界ブロック			A種(120×120×60 0)	m		20		< 1 m当り > 地先境界ブロック 作業区分=設置； ブロック規格=A種(120×120×600)； 基礎砕石規格=再生クラッシャー RC-40； 均し基礎コンクリート 規格=18-8-25(高炉)； 養生工の有無=無し；		m	1	
間接工事費				式		1						
間接工事費				式		1						

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：電力）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
間接工事費		式		1		間接工事費は施工費の86％を計上する 施工費は、仮設工、舗装版撤去工、開削土工、引込 連係管路、舗装工、区画線工、縁石工の合計です。		1		
直接工事費		式		1						
共通仮設費		式		1						
共通仮設費		式		1						
運搬費		式		1						
仮設材運搬費		式		1		仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=関東・中部・近畿；片道運搬距離(実数 入力)=23.1 km；製品長区分=12m以内；運搬割増率= 各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；そ の他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(往復分)；	t <			

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：電力）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
現場管理費		式		1						
工事原価		式		1						
一般管理費等		式		1						
工事価格		式		1						
消費税相当額		式		1						
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする						
	○：該当する管理費区分が含まれている								
工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（当初） 管路工事：電力）				事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分		アスファルト殻	m3	30	○				

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業 （工事業務 引込連係管路工事：
通信）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所 工務課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（当初））		主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目		条 件	
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正		市街地（D I D補正）（1）－1 補正無	
現場環境改善費（率計上）	市街地補正		市街地	
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正		市街地（D I D補正）（1）－1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない	
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正		補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合	
その他	I C T施工補正 週休2日の補正		補正しない 週休2日（閉所）4週8休以上（月単位）	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：通信）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)	LSP-2型 (t=4mm)	式		1		【管路部】H=2.5m 11回転用 27日 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料 LSP-2型（t=4mm） H=2.5m 腹起し材損料 3ヵ月未満（10％） 一般構造用角形鋼管 鋼製切梁サポート賃料 管理設工事用 調整長 600mm～1000mm	m t t 本	208 2.36 0.48 6	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員 A		人日		90		< 1 人日当り> 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員 B		人日		90		< 1 人日当り> 交通誘導警備員B	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破碎工		式		1					

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
殻運搬		アスファルト殻	m3		28		＜ 1 m3当り＞ 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り； 運搬距離(km)(DID区間有)=22.5km以下；	m 3	1	
殻処分		アスファルト殻	m3		28		＜ 1 m3当り＞ 処分費（m 3）	m 3	1	
舗装版切断		アスファルト舗装版 舗装厚 150mm	m		250		＜ 1 m当り＞ 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破碎		アスファルト舗装	m2		680		＜ 1 m2当り＞ 舗装版破碎積込（電線共同溝工）	m 2	1	
開削土工			式		1					
掘削工			式		1					
開削掘削		土砂	m3		90		＜ 1 m3当り＞ 床掘り（電線共同溝工）	m 3	1	
土砂等運搬 現場→仮置場		土砂	m3		90		＜ 1 m3当り＞ 運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り； 運搬距離(km)(DID区間有)=3.5km以下；	m 3	1	
埋戻し工			式		1					

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：通信）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋戻し・締固め	中埋砂	m3		60		< 1 m3当り> 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=中埋砂；	m 3	1	
残土処理工 （昼間）		式		1					
積込（ルーズ） （昼間）	土砂 土量50,000m 3未満	m3		90		< 1 m3当り> 積込（ルーズ） 土質=土砂；作業内容=土量50,000m3未満；	m 3	1	
土砂等運搬 （昼間）	土砂(岩塊・玉石混 り土含む)	m3		90		< 1 m3当り> 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=31.5km以下；	m 3	1	
整地 （昼間）	残土受入れ地での 処理	m3		90		< 1 m3当り> 整地 作業区分=残土受入れ地での処理；	m 3	1	
引込連係管路		式		1					
引込連係管路（通信）		式		1					
埋設管路	通信管 φ75					【直管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	177	
						【曲管部】 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	31	
		式		1		【その他】 管路受台（スペーサ）（材料費）	個	122	

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：通信）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
埋設表示シート		式		1						
埋設表示シート	3 0 0 m m × 5 0 m 2 倍 水 抜 き 穴 3 個	m		208		< 1 m 当 り > 埋設表示シート（材料費）	m		1	
舗装工		式		1						
アスファルト舗装工 仮復旧 歩道一般部		式		1						
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2		660		< 1 m2 当 り > フィルター層 平均厚さ=100mm以上120mm未満；	m 2		1	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュァン RC-4 0 仕上り厚 100m m	m2		660		< 1 m2 当 り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm； 施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシュァン RC-40； 費用の内訳=全ての費用 ；	m 2		1	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(2 0) 舗装厚 40mm 1.4m未満（1層当 り平均仕上り厚50 mm以下）	m2		660		< 1 m2 当 り > 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m； 材料=再生密粒度アスコン（2 0）； 瀝青材料種 類=無し； 費用の内訳=全ての費用；	m 2		1	
アスファルト舗装工 仮復旧 歩道切下部（W≦4m）		式		1						

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：通信）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 250mm	m2		10		< 1 m2当り> 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整碎石 RM-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		10		< 1 m2当り> 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生密粒度アスコン（20）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
アスファルト舗装工 仮復旧 支道部		式		1						
上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 300mm	m2		10		< 1 m2当り> 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=300 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整碎石 RM-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
基層(歩道部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 100mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		10		< 1 m2当り> 基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスコン（20）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
						基層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下）；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスコン（20）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：通信）（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下）	m2		10		< 1 m2当り > 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=再生密粒度アスコン（2 0）；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
区画線工		式		1					
区画線工		式		1					
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		30		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線 15cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
縁石工		式		1					
縁石工		式		1					
地先境界ブロック	A種(120×120×600)	m		20		< 1 m当り > 地先境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=A種(120×120×600)；基礎碎石規格=再生クラッシュ RC-40；均し基礎コンクリート規格=18-8-25(高炉)；養生工の有無=無し；	m	1	

見積参考資料

工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：通信）					（ 当 初 ）		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素			規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
								名称		単位	数量	
直接工事費				式		1						
共通仮設費				式		1						
共通仮設費				式		1						
運搬費				式		1						
仮設材運搬費				式		1		仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=関東・中部・近畿；片道運搬距離(実数 入力)=23.1 km；製品長区分=12m以内；運搬割増率= 各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；そ の他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み, 取卸し(片道分)；		t 		

見積参考資料

工事名	国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係 管路工事：通信）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする						
	○：該当する管理費区分が含まれている								
工事名		国道17号 北本（5）電線共同溝PFI事業（工事業務 引込連係（当初）			事業区分		共同溝・電線共同溝		
		管路工事：通信)			工事区分		電線共同溝		
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分		アスファルト殻	m3	28	○				

見積参考資料

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業
工事監理業務

本資料は、現場説明参加者の迅速な見積りに対しての一資料であり、
委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 工事監理業務において、設計条件と歩掛かりを下記のとおりとします。

■工事監督支援業務

１．工事監督支援業務

業務計画、工事管理、工事監督支援における採用歩掛は下記のとおりとします。

１．業務計画

1業務あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画	人			1.4				

２．工事管理

1工事あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
工事管理	人			0.4				

３．工事監督支援

1ヶ月あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
指揮・監督	人			0.55				
担当技術者	式					1.0		

・担当技術者（（19.5日/月+超勤（30h））×1）

※超過時間あたり標準単価は、設計業務等積算基準に準じ、深夜以外の時間帯としています。

２．打合せ等

打合せ（出張所）における採用歩掛は下記のとおりとします。

１．打合せ（出張所）

1回あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
打合せ（出張所）	人			0.6				

3. 直接経費

1. 電算機使用経費

電算機使用経費は、工事監督支援業務積算基準（令和6年度版）3.（2）により、計上しています。

2. 旅費交通費

旅費交通費は、工事監督支援業務積算基準（令和6年度版）3.（2）により、計上しています。

4. その他原価

その他原価は、工事監督支援業務積算基準（令和6年度版）3.（2）により、計上しています。

5. 一般管理費等

一般管理費等は、工事監督支援業務積算基準（令和6年度版）3.（2）により、計上しています。

見積参考資料

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 維持管理業務

本資料は、現場説明参加者の迅速な見積りに対しての一資料であり、
委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 維持管理業務において、設計条件と歩掛かりを下記のとおりとします。

■台帳作成

１．道路台帳補正

道路台帳補正における採用歩掛は下記のとおりとします。

１．管理平面図

１０枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
管理平面図	人			15.0	17.0		

２．電線共同溝調書附図

１０枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
電線共同溝調書附図	人			6.0	7.0		

３．電線共同溝調書

１０枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
電線共同溝調書	人			6.0	7.0		

４．情報ボックス調書附図

１０枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
情報ボックス調書附図	人			6.0	7.0		

５．情報ボックス調書

１０枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
情報ボックス調書	人			6.0	7.0		

6. 舗装調書附図

10枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
舗装調書附図	人			6.0	7.0		

7. 舗装調書

10枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
舗装調書	人			6.0	7.0		

8. 占用物件調書附図

10枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
占用物件調書附図	人			6.0	7.0		

9. 排水施設調書附図

10枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
排水施設調書附図	人			6.0	6.0		

10. 排水施設調書

10枚あたり

区分\職種	単位	直接人件費					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
排水調書	人			6.0	6.0		

2. 間接測量費

諸経費は、打合せ等は、設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第1編第1章第1節1－4「測量業務費の積算方式」により、計上しています。

■点検業務

1. 点検業務

点検業務における採用歩掛は下記のとおりとします。

1. 日常点検

1回あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
日常点検	人				1		1	

2. 定期点検

1 回あたり特殊部 48 基の点検を見込んでおり、1 基あたりの歩掛は下記のとおりです。

1基あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
定期点検	人				0.35		0.7	

2. 直接経費

1. 旅費交通費

旅費交通費は、工事監督支援業務積算基準（令和 6 年度版）3.（2）により、計上しています。

2. 電子納品作成費

電子納品作成費は、設計書業務等標準積算基準書（令和 6 年度版）第 3 編第 1 章第 3 節 3－1 電子成果品作成費により、計上しています。

計算式は、「その他の設計業務」を適用しています。

2. その他原価

その他原価は設計業務等標準積算基準書（令和 6 年度版）の第 3 編第 1 章第 1 節 1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

3. 一般管理費等

一般管理費等は設計業務等標準積算基準書（令和 6 年度版）の第 3 編第 1 章第 1 節 1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

見積参考資料

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 調整業務（設計段階）

本資料は、現場説明参加者の迅速な見積りに対しての一資料であり、
委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 調整業務（設計段階）において、設計条件と歩掛かりを下記のとおりとします。

■調整業務

１．調整業務（設計段階）

調整業務における採用歩掛は下記のとおりとします。

１．業務計画

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画	人			9.75			9.75	

２．事業説明、地元・関係機関調整

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
事業説明、地元・ 関係機関調整	人			9.75			9.75	

３．支障物件等調査及び移転協議

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
支障物件等調査 及び移転協議	人			9.75			9.75	

４．家屋調査等

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
家屋調査等	人			4.875			4.875	

5. 入線業者等と引込管路及び連系管路の協議

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
入線業者等と引込管路 及び連系管路の協議	人			9.75			9.75	

6. 信号等の計画調整

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
信号等の計画調整	人			4.875			4.875	

7. 関係機関協議結果等のとりまとめ

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
関係機関協議結果等 のとりまとめ	人			4.875			4.875	

2. その他原価

その他原価は設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第1章第1節1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

3. 一般管理費等

一般管理費等は設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第1章第1節1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

見積参考資料

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業
調整業務（工事段階）

本資料は、現場説明参加者の迅速な見積りに対しての一資料であり、
委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 調整業務（工事段階）において、設計条件と歩掛かりを下記のとおりとします。

■調整業務（工事段階）

１．調整業務

調整業務における採用歩掛は下記のとおりとします。

１．業務計画

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画	人			9.75				

２．工事期間における規制箇所等調整

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
工事期間における 規制箇所等調整	人			312				

３．地元に対する工事説明会

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
地元に対する 工事説明会	人			19.5				

４．隣接家屋・店舗等との出入口調整

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
隣接家屋・店舗等 との出入口調整	人			78				

5. 占用業者等との抜柱・入線の調整

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
占用業者等との 抜柱・入線の調整	人			78				

2. その他原価

その他原価は設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第1章第1節1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

3. 一般管理費等

一般管理費等は設計業務等標準積算基準書（令和6年度版）の第3編第1章第1節1－3「業務委託料の積算」により、計上しています。

見積参考資料

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 調整業務（維持管理段階）

本資料は、現場説明参加者の迅速な見積りに対しての一資料であり、
委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

国道１７号 北本（５）電線共同溝ＰＦＩ事業 調整業務（維持管理段階）において、設計条件と歩
掛かりを下記のとおりとします。

■調整業務（維持管理段階）

１．調整業務

調整業務における採用歩掛は下記のとおりとします。

１．業務計画・要求水準

1式あたり

区分\職種	単位	直接人件費						備考
		技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画・要求水準	人			58.5				

２．その他原価

その他原価は設計業務等標準積算基準書（令和６年度版）の第３編第１章第１節１－３「業務委託
料の積算」により、計上しています。

３．一般管理費等

一般管理費等は設計業務等標準積算基準書（令和６年度版）の第３編第１章第１節１－３「業務委
託料の積算」により、計上しています。